

葛尾村の復興に関する 現状と課題

エコ・コンパクトビレッジ
～自然と共生し、一人ひとりの笑顔がみえる、
持続可能なふるさと「かつらお」～

福島県双葉郡葛尾村



◆葛尾村のすがた

葛尾村の 木:赤松／花:つつじ／鳥:きじ

阿武隈山系のほぼ中央部に位置し、
総面積の約8割を森林が占める
緑豊かな高原の村

【2011.3.11時点】

- 世帯数:477世帯
- 人口:1,567人
- 面積:84.37㎡
- 標高(中心地):450m



◆復興の復興状況と課題

I 避難指示解除及び帰還・避難の状況

(平成30年3月1日現在)

項目	世帯数	人口	備考
1. 人口・世帯数	466	1,437	
(1) 帰還困難区域	34	111	野行行政区
(2) 避難解除区域	411	1,267	H28.6.12解除 (避難指示解除準備区域、居住制限区域)
(3) 解除後の転入	21	59	
2. 帰村者数	102	214	帰村率16.9%(人口ベース)
3. 避難者数	－	1,164	
(1) 県内	19市町村	1,076	うち仮設住宅101人、借上げ住宅125人
(2) 県外・海外		88	県外84人(14都府県)、海外4人

◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

1. 帰村の現状と見通し

○ 平成28年6月の避難指示解除(帰還困難区域を除く。)から1年9カ月が経過するものの、村民の帰還は2割未満にとどまっている(H30.3.1時点の帰村率:16.9%)。

【主な要因】・放射線量に対する不安があるため。

・高齢者、要介護者の医療・福祉環境に不安があるため。

・避難先での生活定着化が進んでいるため。

○ 村内での買い物、医療等の生活環境整備は進んでおり、今後は徐々に村民の帰還の動きが進むものと見込まれる。

【参考】「葛尾住民意向調査(H29.10月実施)」による帰還の意向

・現在、葛尾村に戻っている:17.2%

・戻りたいと考えている(将来的希望も含む):26.5%

} 43.7%



葛尾村イメージキャラクター
「しみちゃん」

◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

2. 主な施設整備の状況(H28～30年度)

- 拠点施設:復興交流館、農業用倉庫、防災備蓄倉庫(H29年度整備)
- 産業雇用:胡蝶蘭栽培施設(H29.12整備済)、産業団地造成(H30～31年度予定)
- 復興住宅:三春町内(恵下越団地106戸)、葛尾村内(共同住宅11世帯)(H28年度整備済) ※葛尾村内(地域活性化住宅8世帯)(H29年度整備済)
- 文教施設:小・中学校校舎、体育館、プール、給食センター等(H29年度整備済)
- その他:浪江消防署葛尾出張所(H29年度整備済)、
郷土文化保存伝習館、葛尾大尽屋敷跡(H29年度改修)



◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

3. 生活環境整備の状況

(1) 買い物環境

- 主要3商店について、①マルイチ商店(日用雑貨等販売)(H29.4月)、②石井食堂・商店(食堂、生鮮食品等販売)、③ヤマサ(コンビニ)(H29.7月)は、村内で営業再開済。
- 村では、帰還した住民向けの補完的サービスとして、隣接する田村市の複合商業施設等への「無料デマンドタクシー」を運行し、買い物環境を確保している。

(2) 医療・介護・福祉

- 社会福祉協議会は村内で業務を再開しており、帰村した高齢者等の「見守り訪問」や「デイサービス事業」を実施している。
- 村内の診療所の再開状況

区 分	科 目	診 療 日	診 療 医 師
葛尾村診療所 (H29. 11月再開)	内科・ 小児科	週 1 ～ 2 日 (毎週木曜、第 2 ・ 第 4 水曜) (午後のみ)	(一社) 田村医師会所属 の医師等
歯科診療所 (H28. 7月再開)	歯科	週 3 日 (火・水・木曜)	震災前の歯科医師が継続 診療

- また、村では、医療確保のための補完的対応として、田村市都路診療所に「無料デマンドタクシー」を運行している。



◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

4. 生業（農業・畜産・企業誘致等）

(1) 水稻栽培 ＜震災前 農家数270戸、作付面積130ha＞

H28年度（実証栽培）：農家数11戸、作付面積約 6 ha

H29年度（通常再開）：農家数14戸、作付面積約 9 ha程度にとどまる。

- 【主な要因】・長期避難に伴い、営農再開意欲が低下している。
・後継者の帰村が進まず、担い手が不足している。
・村内の優良農地が除染土壤等の仮置き場となっている。

※ 米の全量全袋検査(H29年10月～、計1,314点)の結果、放射性物質は全て測定下限値未満となっている。

(2) 特産品

「(有)ふるさとのおふくろフーズ」が、H29年2月から地域の伝統食である「凍み餅」の製造・販売を再開（H30の出荷量は、震災前の4割程度。）。

郡山女子大学との連携により、新たな商品開発等に向けた取組が進められている。



◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

4. 生業（農業・畜産・企業誘致等）

(3) 畜産 <震災前:繁殖農家95戸(314頭)、肥育農家9戸(3,300頭)、酪農2戸(170頭)>

全村避難に伴い村外に預託していた肉用牛の一部が
H29年3月から村内での飼養を再開している。

※H30年3月時点の再開状況：繁殖農家9戸(約80頭)



(4) 企業誘致

県外の繊維製造業（金泉ニット株式会社(本社;愛知県)）が、村内に新工場を
設置することとなり、H28年12月に村との基本協定を締結、H30年5月操業開始予定。



◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

5. 教育（幼稚園、小・中学校の村内再開）

平成30年4月6日、葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校の合同再開式が開催され、村内に幼稚園、小学校、中学校が開園、開学された。

なお、再開後の園児、児童、生徒は以下の通り。

幼稚園	4名
小学校	7名
中学校	11名



◆復興の復興状況と課題

Ⅱ 復興の現状と課題

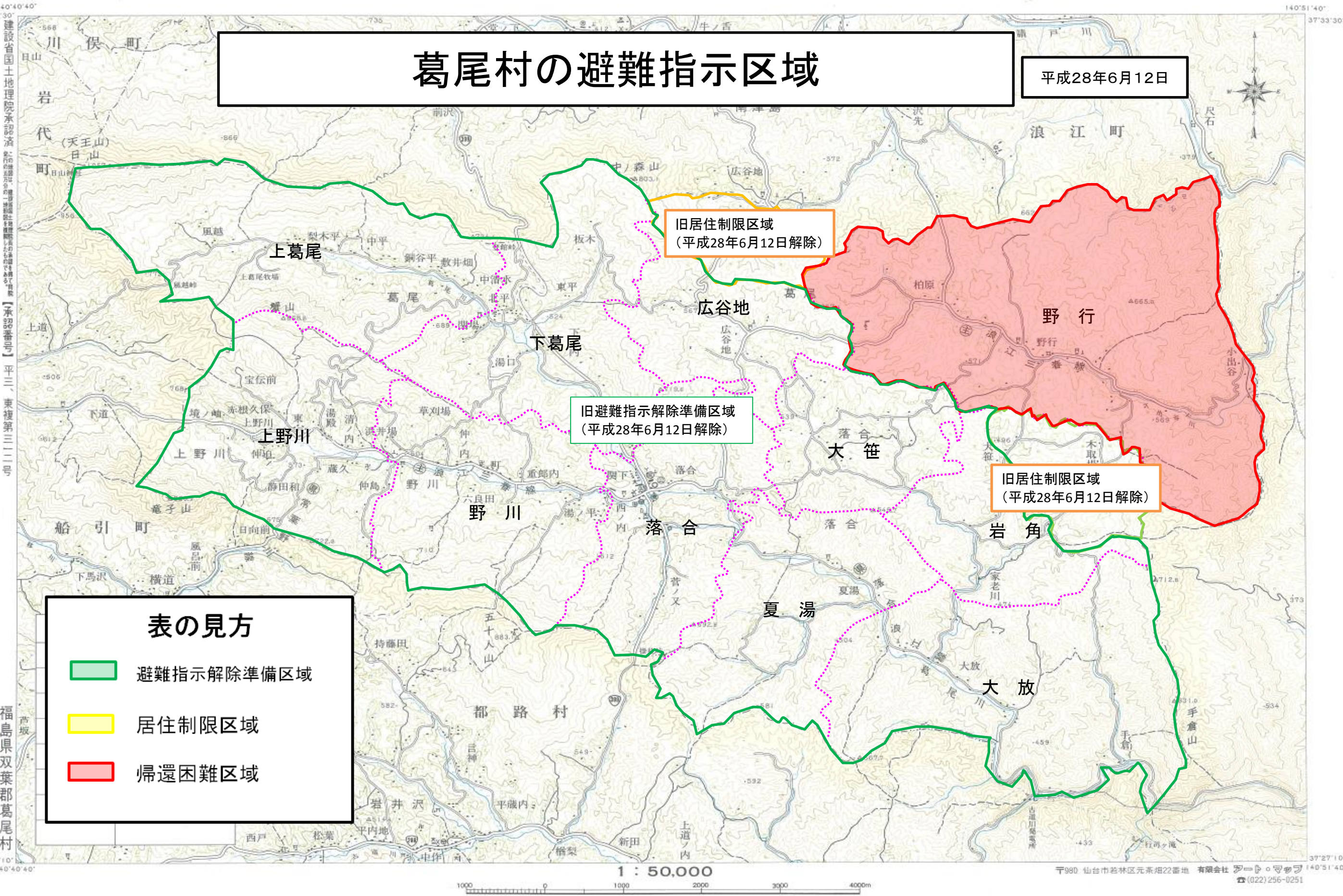
6. 帰還困難区域の復興(特定復興拠点)

村の東端に位置し、浪江町津島地区と接する「野行行政区」が帰還困難区域となっている(住民登録数は34世帯・111人で、村全体の約8%)。

村では、国・県等の関係機関との協議を進め、4月16日に、国へ特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定申請を提出している。

認定後は、計画に基づいた具体的な活用方法を地元住民と協議しながら進めていく必要がある。





葛尾村の避難指示区域

平成28年6月12日

旧居住制限区域
(平成28年6月12日解除)

旧避難指示解除準備区域
(平成28年6月12日解除)

旧居住制限区域
(平成28年6月12日解除)

表の見方

- 避難指示解除準備区域
- 居住制限区域
- 帰還困難区域